

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6年 3月 20日

事業所名 こばんはうすさくら 流山教室

保護者等数(児童数) 20名 回収数 17枚 割合 85 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	15	0	0	2	広いと思います 活動する場所は広々として十分なスペースです	広さを生かして運動なども行っています 活動によっては場所を制限するなどして、集中する環境も整えています
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	15	0	0	2	先生もたくさんいます 作業療法士などもあり、人数等適切だと思います	法令に定められた人数配置を行って、専門職の職員もいるが、改めて周知してまいります
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	14	0	1	2	外階段が急なので、バリアフリーではない 入口の階段は多いですが、玄関も広く、教室の配置も単純で分かりやすい	階段などの危険箇所については改修工事を行い、安全に昇降できるようにいたしました 共有部分で教室独自の工事が出来ないため、階段昇降に際して指導員が介助を行うなど危険回避に努めています
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	16	0	0	1	教室はきれいで、体操を行う時も十分な空間です	今後も清潔さを保ち、使いやすい環境を整えていきます
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	14	2	0	1	課題設定が、もう少し細かくと嬉しい 初めはまず慣れるところからという事で作成してもらった	お子様による特性や課題を基に、職員間やご家庭と情報共有し、より良い計画を作成してまいります
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	15	1	0	1	支援内容は、初めのお話から取り取ってもらい、言葉等個別にもやってもらっているのかなと思います。	今後も引き続き、適切に支援項目を設定し、個別支援計画を作成してまいります。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	13	2	0	2	楽しく通っているので、沿って行っていると思う	個別支援計画に沿って支援を行っています どのような活動を行っているかは、リトム・送迎時、活動写真やブログ、お便りなども活用して周知してまいります
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	17	0	0	0	いろいろなプログラムがあって、子どもも楽しそうです。 月ごとのプログラム票では、様々なことを行っていて大満足です	継続して行うプログラムもありますが、季節や行事も大切にしながら、今後も固定化しないよう工夫してプログラムを作成いたします
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	3	4	8	交流の話は聞いたことがなくわからない	幼稚園や保育園等と交流する機会は設けておりませんが、公園や外出プログラム等で、地域のお子様と関わる機会を作り、適切に関われるよう支援しております
	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	17	0	0	0	最初の説明時に、詳しくお話しいただき、質問にも答えてもらった。	今後もわかりやすい説明を行ってご理解いただけるように努めます
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	14	0	1	2	送迎時にもってきてもらい、ざっくり説明は受けた	ガイドラインに基づき支援計画を作成し、わかりやすく説明してまいります
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	7	3	4	3	通所の教室とは違うところに行かなければならないのが難点 参加はできていないが、機会が多いと思う	年に数回開催していますが、事業所全体で行っているため、今年度は他教室で開催となりました ご意見を踏まえて、教室変更なども検討し来年度の開催を計画いたします
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	13	3	1	0	連絡方法が増えて、気軽に連絡できるようになった 先生によって伝え方が違う 送迎の都度、その日の様子を伝えてもらっている	送迎時やリトム以外の連絡方法をお知らせしたところ、好意的なご意見をいただくことができました 当日の活動については、送迎職員が把握し送迎時に説明できるようにいたします
保護者 への 説明 等	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	15	1	1	0	面談でいろいろと相談でき、アドバイスももらえました。 こちらに参加できないことも多いが、相談できる機会は多いと感じる	面談は定期的に行っていますが、保護者様からご要望がありましたら、いつでも面談の機会を設けております
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	15	0	1	1	懇談会に参加して、子どもと同じクラスのママと知り合えました。 働いている方もいるので難しく感じています。 カフェなどもあり、同じ悩みを共有できる場があるのありがたいです。	今後も懇談会を定期的に開くとともに、保護者同士が連携を取れる父母の会も発足予定です
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	14	2	0	1	その場で難しい時には、後で電話など使用し詳しく相談に乗ってもらっています いつでも相談できる環境があり安心している	相談や申し入れには、可能な限り即日対応しています いつでも連絡が取れる環境を整えています
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	16	1	0	0	その日の活動などは、リトムや口頭でしっかり話がある	リトムや電話、LINE等でいつでも連絡を取れる体制を整えています 連絡の必要があると判断した場合は、お電話にて詳しく活動の様子や本日の様子を伝えることもあります
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	15	1	1	0	リーフ通信にて、先生の紹介や今後の活動について知ることが出来ます。 会報や保護者会の結果等をいただけるので、参加できなくても情報を得ることが出来て嬉しい。	お便りを年4～5回発行しています 活動については目的も含めてブログにて紹介、またLINE画像共有グループにて日々の活動の様子を見られるように配慮しています
19 個人情報の取扱いに十分注意されているか	15	2	0	0	注意して取り扱っているように思う	個人情報保護法の指針や守秘義務に則り、職員一同取り扱いは十分に注意してまいります	
非常時 等の 対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	12	1	1	3	緊急カードがあるので、もしも時の連絡先が分かりやすいです。 カード等で分かりやすく説明してもらえているので安心している。	お便りなどで季節性の感染症や防犯、安全面などのお知らせを分かりやすく行ってまいります
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	13	1	0	3	ヘルメット等は準備されているようですが、訓練はされているか分からない 訓練は不明だが、場所などは丁寧に教えてもらった	定期的に必要な訓練を実施しています 積極的にブログ等で周知してまいります
満足 度	22 子どもは通所を楽しみにしているか	15	2	0	0	知っていることでもあるが、自分で準備している よって楽しみにしています 今日はさらの目だね、と楽しみにしています こばんのこと大好きです	お子さまに楽しく通所してもらえようように、療育を行ってまいります
	23 事業所の支援に満足しているか	17	0	0	0	事業所の支援に感謝しています 満足です いつも親切に話を聞いてくださり対応していただけている 毎日違うこととして、いろいろな体験ができて満足している	今後もお子様と保護者様に寄り添い療育を行い、事業所の支援に満足してもらえるよう活動の工夫、職員の研鑽に取り組みまいります

319 25 15 32

82%

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 20日

事業所名 こぼんはうすくら 流山教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	1	机を置く場所を工夫している 室内は広く、玄関も広い 適切な人員が利用している	電子ピアノを置く場所は、危険回避のための検討が必要である 小部屋の活用方法を検討中である
	2 職員の配置数は適切であるか	5	0	リーダーとサブが付き、児童がスムーズに活動に参加できるようにしている	今後も継続して人員を配置する
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4	1	支度スペースと活動スペースを机の配置によって分けている	玄関前の階段がバリアフリーになっていないが、共有スペースのため難しい。継続して、指導員の声掛けや位置によって階段昇降時の危険回避に努める。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4	1	年度途中でであっても、状況に応じて配置を変更している 余計なものをなくし、集中できる環境つくりをしている	掃除が甘い箇所は、改善が必要 机上課題や運動課題など、活動に応じて教室内の配置をもっと工夫したい
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加している	4	1	目標をよく設定できていると思う 毎月のミーティングにて、業務改善についても話し合っている	業務内容の全てが明確にリスト化されているわけではないので、改善に努めたい シフト制のため、ミーティングに参加できない職員についても情報が正確に伝わるように議事録の書き方を工夫する
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0	カンファレンスをよく開いている 評価表を基に、職員間で会議を行い、業務改善に取り組んでいる	ペアレントトレーニングや避難訓練など、行っているのにあまり知られていないことに対して、どのように周知を行うか検討していく
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	1	HP上で公表している	今後の改善について、わかりやすく公表していく
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	5	実施していない	今後については確認、検討していく
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	毎月第3土曜日に研修を行っている 毎月の研修と共に、外部研修にも自由に参加できるようにしている	オンラインも活用して、研修に積極的に参加していく
	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5	0	送迎時に保護者の意見を聞いている 定期的にアセスメントをしている 保護者からの申し出により、面談の機会を設けることもある	今後も適切にアセスメントを行い、児童発達支援計画を作成する
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	0	利用者から提供されたアセスメントツールの結果も共有し児童理解に努めている	アセスメントツールも継続利用して、適応行動を判断する
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4	1	特記事項無し	配慮して、より分かりやすい表現、支援内容になるように留意していく
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4	1	支援内容にあったプログラムを設定している	プログラムの中でも各児童に合わせてきめ細やかな支援を行っていく
適切な支援の提供	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	4	1	児童指導員全体で立案している 各自の専門性も活かして、プログラムの立案に努める	今後も各職員の専門性を活かしながら、チームでプログラムを作成する
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0	児童指導員が色々な意見を出している	継続して行う活動も中にはあるが、固定化しないよう季節の行事も取り入れながら、工夫して立案している
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	4	1	子どもの様子に合わせて行っている	現場と管理者の理解に差を感じることもあるので、職員間の情報のすり合わせをより行っていく
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0	朝礼を行っている 毎朝、朝礼内で支援内容の共有を行う 送迎や各職員の役割の確認も行っている	朝礼に出られないパート職員には出勤時にリーダーから伝達しているが、送迎時間の兼ね合いから、細かな点を伝えることが難しい場合があるので、改善していきたい
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	0	終礼を毎日行っている 活動の気づきは、当日中に伝えられるようにしている 児童について共有しておきたいことも話している	熱心なあまり、終礼時間の超過がある 記録での引継ぎも活用し、要点を絞った報告ができるようにしていく
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0	毎日療育記録を付けている 業務日誌にその日の活動内容を記載している	日誌への活動記入が詳細でない事がある 継続しての支援のため、詳細な記載を心掛ける
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4	1	6か月に1度モニタリングを行っている 適切な期間で行っている	日々の記録や療育の細切れが目立つ 児童の発達に応じて、通常より早いタイミングでのモニタリングも行っていく
	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加している	5	0	メールや開催案内を周知できるようにしている。	機会は少ないが、児童発達支援管理責任者と職員が参加できる体制を整えていく
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5	0	相談員と連絡を取っている 保育園、幼稚園、発達センターと連携している	関連機関と連絡を取り、支援を行っている
関係機関や保護	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			該当なし	現時点で、事業所に医療的ケアが必要な児童はいない
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			該当なし	現時点で、事業所に医療的ケアが必要な児童はいない
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	1	少しずつ連携を始めている 必要に応じて幼稚園や保育園と連携ととり、情報を共有している	とっているが工夫が必要 継続した連携ができるよう、担任職員ベースではなく施設ベースでの連携を行う

保護者との連携	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	1	保護者を通じて共有している共有できる体制はあるが、移行支援として行ったことはない	児童がスムーズに小学校に就学できるように、サポートしていきたい
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	2	発達支援センターの相談支援専門員と連携を図っている	連携や、研修参加の機会を増やしていきたい
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	4	特記事項無し	外出レク等で、外部の児童と触れ合うことはあるが、積極的に活動の機会は作っていない 子ども同士の交流は調整が難しいが検討していきたい
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0	5	開催日や時間をシフトとともに確認している	児童発達支援事業所連絡会には参加しているが、積極的な出席しているとはいえない 地域課題について共通理解を図るためにも、参加機会を増やす
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	送迎時に、保護者とよく対話している 送迎時に口頭で伝えること、リトム(連絡帳)で連絡をすることが多いが、必要に応じてLINEなどのツールを使用し、細かく状況を伝えていく。	職員間での程度の話をするか差異がある 不公平感がないよう、職員間である程度整えたい
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている	5	0	11月12月に実施、2月にも実施予定	毎年定期的に行っているが、要望が多いので面談時にも、必要であればペアレントトレーニングを行えばよい
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0	契約時に丁寧な説明を行っている	引き続き丁寧な説明を心掛ける
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5	0	特記事項無し	より分かりやすい表現を用いて、利用者の納得感を得られるよう説明していく
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0	リトム(連絡帳)やLINE、電話などのツールを用いて、保護者の相談を聞いている	理学療法士や作業療法士による、運動機能の面での課題に対する、専門的な面談も行っていく
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	2	情報を集めている 懇談会は年に1回以上開催している 1~2ヶ月に1回、教室を開放し保護者が集まれる機会を提供している	父母会の発足予定もあるので、適切にサポートしていきたい
非常時等の対応	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0	LINEや電話で連絡を取っている 苦情や相談に対しては、基本即日対応を基本にしている	今後も即日対応を心掛け、対応の体制を整えていく
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	0	リーフ通信(お便り)を年4回出している	必要な情報を連絡できるように、今後も定期的にお便りやお手紙を配布する
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	4	1	注意して業務にあたっている	職員間で知識に差を感じることで、どのようなことが個人情報にあたるのか、職員の知識のアップデートを行い、個人情報の取扱いにより注意していく
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	児童に対しては、視覚情報で分かりやすく伝えるような工夫もしている 重要な事項は口頭で伝えたのち、改めてLINE等で連絡し記録に残すようにしている	より分かりやすい伝達ができるよう、LINEやリトムなど記録として残るものも活用していく
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	1	地域住民に対してベアトレを企画している	開かれた事業運営のために、今後も検討・実施していきたい
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4	1	緊急時対応マニュアルと引き渡しカードを作成し、保護者に配布している	季節や時節に応じて、感染症などの注意点についても分かりやすくお便り等で伝えていく
42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0	プログラムに組み入れ、定期的に行っている	どのような訓練をしたのか、ブログやお便り等で周知する職員だけの訓練も行いたい	
43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5	0	フェイスシートを活用している 年に1回、保護者に児童の状況を細かく記載してもらっている	今後も継続して細やかな対応をしていく	
44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている			該当なし	現時点で、事業所に医療的ケアが必要な児童はいない	
45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0	細かな部分も記載できている	ヒヤリハットは必ず全職員が確認しているが、定期的に見直す機会や、同じ内容の者がいないかチェックし、同じミスが出ないように注意したい	
46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	定期的に研修している 虐待防止委員会を設置するとともに、定期的に研修を行っている	より虐待に対する意識を高めていきたい	
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	0	5	特記事項無し	身体拘束についての記載はない 事業所内で検討を進めて記載保護者への周知、同意を進めていく	